



2026年6月4日

各 位

会社名 株式会社 CINC
代表者名 代表取締役社長 石松 友典
(コード番号：東証グロース 4378)
問合せ先 経理財務部長 森田 栄一
(TEL：03-6822-3601)

ChatGPT や Gemini、Perplexity などの生成 AI に間違っ た情報が出ていないか確認可能にする「AI 誤情報 チェック機能」開発のお知らせ

当社は、ChatGPT や Gemini、Perplexity などの生成 AI に間違っ
た情報が出ていないか確認可能にする「AI 誤情報
チェック機能」を開発したことをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

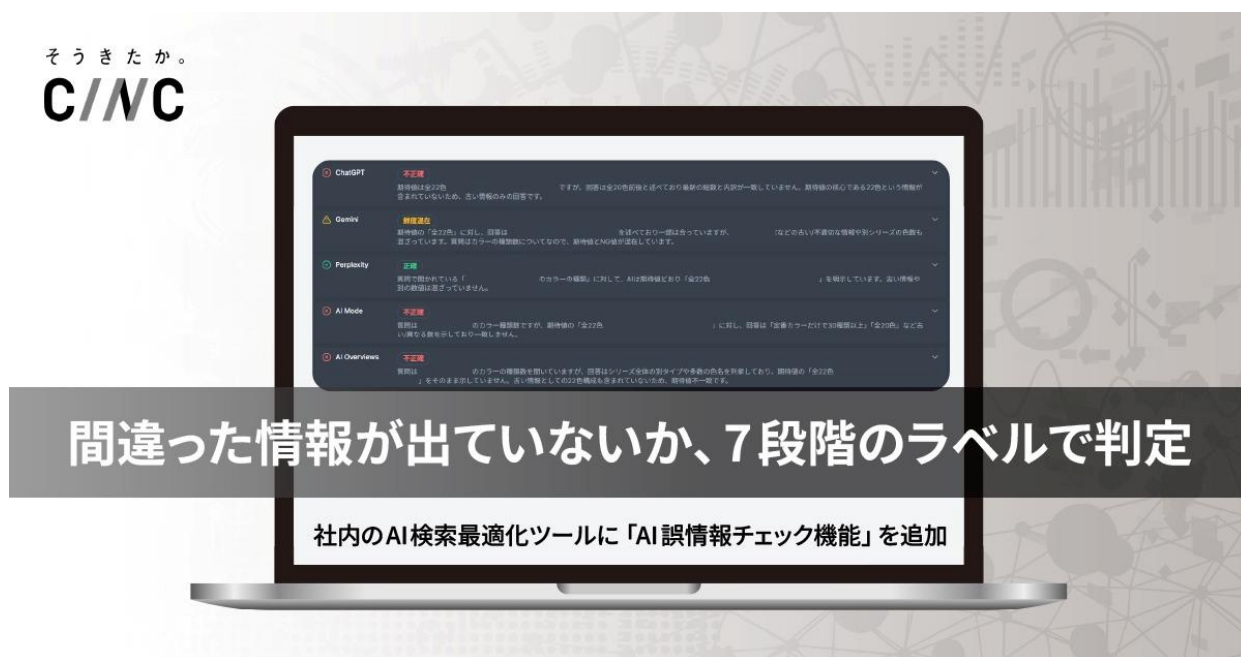
以 上

ChatGPT や Gemini、Perplexity などの生成 AI に間違っただけの情報が出ていないか確認可能に。CINC、「AI 誤情報チェック機能」を開発

ChatGPT・Gemini・Perplexity・AI Mode・AI Overviews に質問を同時送信し、企業情報に対する AI の誤った認識を 7 段階の判定ラベルで可視化します。

株式会社 CINC（本社：東京都港区、代表取締役社長：石松友典、以下 CINC）は、「生成 AI の回答に自社や自社プロダクトの間違った情報が出ていないか」を確認できる「AI 誤情報チェック機能」を、社内の AI 検索最適化（GEO/LLMO）ツールに追加しました。

本機能では、確認したい企業やサービス・製品の正しい情報を登録するだけで、ChatGPT・Gemini・Perplexity・AI Mode・AI Overviews に質問（プロンプト）を一斉送信し、回答を取得。取得した回答データは正確・文脈ズレ・不正確・ハルシネーションなどの 7 段階のラベルで自動判定され、回答生成時の情報源となった引用 URL とともに表示されます。本機能により、CINC は AI 検索最適化（GEO/LLMO）コンサルティングサービスの支援において、「誤情報発生状況の把握」から「改善施策実施後の効果検証」まで、スムーズなサポートが可能になります。



<開発背景：AI 検索の普及とともに「見えない誤情報リスク」が顕在化>

ChatGPT や Gemini などの生成 AI の活用が日常化し、企業の気づかないところで AI が誤った情報を回答するリスクが顕在化しています。ダボス会議で知られる世界経済フォーラムの『グローバルリスク報告書 2026 年版』においても、今後 2 年間で世界に深刻な影響を与えるリスクとして「誤情報と偽情報（Misinformation and disinformation）」が 2 位に挙げられています。

誤情報によるリスクを企業にとって身近な例に置き換えると、たとえば「製品リニューアル後も旧モデルが AI に推奨されている」「価格改定後も古い価格が回答に含まれている」などのケースです。こうした事象は、プレスリリースやレビュー、比較記事など、Web 上に存在するあらゆる記事が AI に読み込まれ、ブランドの「AI 内での姿」が形成されるために発生します。意図せず蓄積された古

い情報や誤りがユーザーへの回答に使用されるリスクは、どの企業にも存在します。

AIの誤認識が引き起こす主なビジネスリスク

リスクの種類	想定される具体的な事象
廃番・旧モデルへの誘導	製品リニューアル後も旧モデルを AI が推奨し続け、存在しない製品への問い合わせや販売機会の損失につながります
旧価格・旧スペックによるクレーム	価格改定・仕様変更後も旧情報を AI が回答し、誤った前提で購入・契約を検討したユーザーからのクレームや解約につながります
旧住所・旧連絡先への誘導	移転後も AI が旧拠点を案内し続け、来訪・配送時のトラブルにつながります
ハルシネーションによる誤情報の回答	実在しない機能・受賞歴・資本関係などを AI が捏造して回答し、ユーザーがそれを事実として受け取るリスクがあります
採用情報の誤認識によるミスマッチ	実態とは異なる給与レンジ・社内制度の情報などを AI が回答し、応募前または応募後の候補者の離脱につながるおそれがあります
ブランドの文脈ズレ	競合と混同されたり、本来訴求したい強みとは異なる文脈で AI に言及され、意図しないところでの機会損失につながります

上記のようなリスクは、企業側が「AIが何を回答しているか」を把握していないために見過ごされがちです。本機能は、そうした「見えないリスク」を可視化し、クライアントの現状把握から施策実行後の効果測定までを一貫してサポートするために開発されました。

<本機能により可能になる支援>

「AI誤情報チェック機能」により、次のような支援が可能です。

1：AIによる誤認識を網羅的に把握

確認したい企業や製品・サービスの正しい情報を登録すると、ChatGPT・Gemini・Perplexity・AI Mode・AI Overviews の5つのサービスに質問（プロンプト）を一斉送信し、それぞれの回答を自動収集します。どのAIがどの項目で誤った回答をしているか、一覧で把握できます。

2：誤情報の「種類」をラベリングし、対策の優先度を設計

回答を正確か不正確かの二択で判定するのではなく、正確・鮮度混在・文脈ズレ・不完全・不正確・ハルシネーション・情報なしの7段階のラベルで識別することが可能です。回答内容が「事実として異なる」のか、「情報が古い」のか、「文脈がズレている」のかによって、対処法は異なります。7段階に分けて識別することにより、提案する施策の精度向上につながります。

企業や製品・サービスに関する質問を入力すると、回答データを取得してラベリング

The image shows a workflow for labeling AI search results. On the left, a box contains seven labels: 正確 (Correct), 鮮度混在 (Freshness mixed), 文脈ズレ (Context drift), 不完全 (Incomplete), 不正確 (Incorrect), ハルシネーション (Hallucination), and 情報なし (No information). An arrow points from these labels to a screenshot of search results from ChatGPT, Gemini, Perplexity, AI Mode, and AI Overviews. Each result is labeled with a status: ChatGPT (不正確), Gemini (鮮度混在), Perplexity (正確), AI Mode (不正確), and AI Overviews (不正確). Below this, a detailed view of a search result is shown, highlighting the ability to check the source of the information and verify the accuracy of the response.

ある製品の最新のカラーバリエーションについて本機能で質問した結果。ChatGPT・Gemini・Perplexity・AI Mode・AI Overviews それぞれの回答について「不正確」「鮮度混在」「正確」のラベルがついており、回答内容にどのような不備があるのかがひと目でわかる。また、回答の詳細とあわせて引用リンクを確認できるため、誤った情報の発信源を特定することも可能。

本機能では、検索せずに生成 AI に回答してもらった場合のデータも取得できるため、AI の内部知識と引用された Web ページのどちらが誤情報の原因か調査することも可能です。定期的にチェックを行うことによって、クライアントのリスクの早期発見と対処をサポートします。

<AI 検索最適化コンサルティングについて>

CINC の AI 検索最適化 (GEO/LLMO) コンサルティングでは、課題の分析から戦略立案、施策実行、改善までを伴走支援し、生成 AI にサイトが引用されたり、ブランドが適切な文脈で推奨されたりする状態を目指します。

「まずは自社の現状を確認したい」という方には、AI 検索最適化 (GEO/LLMO) に関する無料診断サービスを提供しております。

以下 URL よりお申し込みください。

https://consulting.cinc-j.co.jp/geo_diagnosis

<ご参考>

■ CINC の AI 検索最適化 (GEO/LLMO) について

<https://www.cinc-j.co.jp/service/analytics/geoconsulting>

■ AI 検索最適化 (GEO/LLMO) の無料診断

現在、AI 検索最適化（GEO/LLMO）に関する無料診断サービスを提供しております。自社コンテンツが生成 AI プラットフォームにどの程度表示・引用されているかを確認したい方は、以下よりお申し込みください。

https://consulting.cinc-j.co.jp/geo_diagnosis

■ CINC のマーケティング DX サービス

- ・ デジタルマーケティング戦略設計コンサル
- ・ コンテンツマーケティングコンサル
- ・ AI 検索最適化（GEO/LLMO）コンサル
- ・ SEO コンサル
- ・ SNS コンサル
- ・ コンバージョン改善コンサル
- ・ 広告運用代行
- ・ YouTube マーケティングコンサル
 - ↳ YouTube チャンネル運用コンサル
 - ↳ YouTuber タイアップ戦略設計・配信

■ Keywordmap（キーワードマップ）について

膨大な数の検索結果、自社・競合・他あらゆる Web サイト、リスティング広告のデータをもとに、競合調査・キーワード選定・AI ライティング・効果計測など、SEO・コンテンツマーケティングを支援する機能を備えたツールです。2016 年のリリース後、業種・業界、事業規模を問わず、Web 集客を推進する幅広い企業様にご活用いただいています。

URL : <https://keywordmap.jp/>

Keywordmap の無料トライアルはこちら : https://keywordmap.cinc-j.co.jp/keywordmap-trial-2_pr

<サービスに関するお問い合わせ先>

株式会社 CINC

mail : marketing.s@cinc-j.co.jp

<会社概要>

「マーケティングソリューションで、日本を代表する企業へ。」をビジョンに掲げ、ビッグデータの活用を強みとした Web マーケティングのツール開発からマーケティングコンサルティングを展開しています。独自のデータ収集技術、AI・機械学習技術と、データ解析の知見を基に、誰もが・短時間で・簡単に・高度なビッグデータ解析ができるツールの開発・提供、プロフェッショナルが戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走するマーケティングコンサルティングの提供を通じて、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

会社名：株式会社 CINC（シंक）（東証グロース 証券コード：4378）

代表者：代表取締役社長 石松友典

設立：2014 年 4 月

本社：東京都港区虎ノ門 1 丁目 21-19 東急虎ノ門ビル 6 階

事業内容：

(1) ソリューション事業

(2) アナリティクス事業

(3) M&A 仲介事業 (株式会社 CINC Capital)

会社ホームページ：<https://www.cinc-j.co.jp>

採用情報：<https://www.cinc-j.co.jp/recruit/>

運営メディア「Marketing Native」：<https://marketingnative.jp/>

Tech Blog：<https://cincdevteam.hatenablog.com/>